

安全で
安心な
まちづくり

こくりょう・みんなの広場



発行

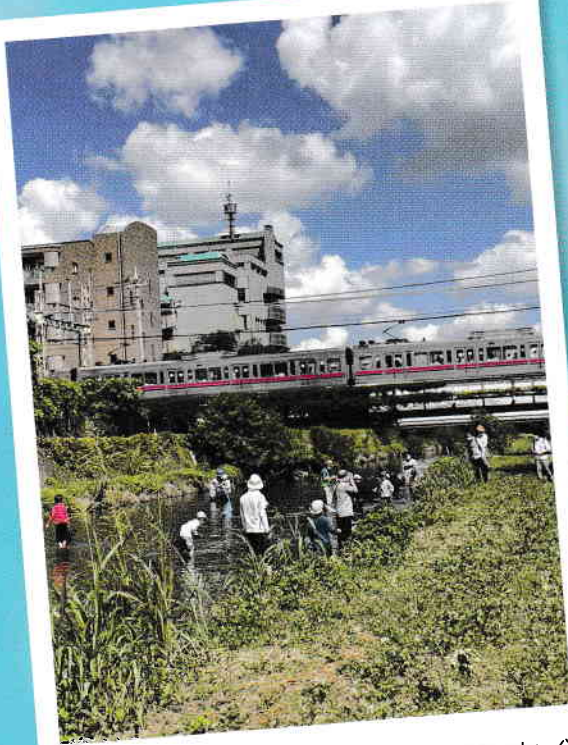
令和3年12月17号

発行者

こくりょう・みんなの広場
国領小学校地区協議会
会長 宇治和子

みんなで力をあわせて

コロナ禍でもできたこと



7月25日 野川水辺の観察会



11月7日 防災体験ツアー



9月12日 避難所設営講習会



12月11日 地域防災勉強会

避難所設営講習会

本年は、新しい試みとして「避難所設営講習会」を9月12日に開催いたしました。

「感染症流行のなかの台風豪雨による水害の発生」と、具体的な状況を想定し、8月に行われた市の訓練を参考にしながら、参加者のみで実際に一般避難者と要配慮避難者の避難スペースと受付の設営をしました。2つの避難スペースと受付の準備で約45分。両スペース合わせてブルーシート79枚分のスペースを準備することが出来ました。設営後は、避難者として受付を体験し、意見交換会も行いました。



アンケートから

意見交換会では、4グループに分かれて行われ、感想や気づきを共有しました。校内の動線や誘導に関すること、設備や備品に関すること、ブルーシートは足が引っかかるなど、たくさんの気づきがありました。体験してみてよかった、イメージが出来た、すごく身につく、という感想もいただきました。



在宅避難という選択肢

「在宅避難」とは、災害発生後も避難所に避難せず、自宅で生活を続けることを言います。

自宅の被害が少なく、居住できる状況であれば、必ずしも避難所に行く必要はないのです。

避難所での生活は混乱や不便も多く、慣れない環境で体調を崩してしまう方も少なくありません。自宅ならプライバシーを守ることができ、集団生活による感染症などの心配も回避できます。

携帯やネット、ラジオなどで情報を得る事が出来れば、在宅避難でも安心です。



在宅避難に必要な備蓄

- 非常食、無洗米、普段食べ慣れている食品
- 給水用のポリタンク、給水袋、生活用水を入れるための大きなバケツなど
- 生理用品、おむつ、マスク、ビニール手袋など
- 常備薬、サプリ、ビタミン剤など
- カセットコンロ、ガスボンベ
- 電池、懐中電灯
- トイレ用品、消毒用品
- ビニール袋
- ラップ
- スリッパ、軍手
- 調布市ハザードマップ
- 停電対策
(小型太陽光発電パネル、モバイルバッテリーなど)



「いざという時の備えに」

調布市立第六中学校長 白倉 美智

近年、全国各地で発生している豪雨による風水害や近い将来起こりうる首都直下型地震等に備え、災害発生時に適切に判断し行動できるよう日頃からの訓練が必要であるのは言うまでもありません。加えて、人と人の心の通った温かい助け合いが被災者の心の支え

「こくりょう・みんなの広場

第六中学校避難所開設訓練に参加して」

調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター
センター長 高木 直

国領地域の皆様には、日頃よりセンターの事業にご理解・ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。コロナ禍での訓練実施ということで、こくりょう・みんなの広場（国領小学校地区協議会）の運営委員さんを中心とした訓練ではありましたが、多くの方々が積極的に参加されていたことに国領地域の防災に関する

「かわる地域防災訓練のやり方」

こくりょう・みんなの広場（国領小学校地区協議会）
会長 宇治 和子

緊急事態宣言が発出されている中、例年とは違う防災訓練となりました。

訓練場所として、白倉 第六中学校校長から「災害はいつ起こるかわからないから。」と学校使用の許可を頂く事が出来ました。

コロナ感染防止対策を充分にとり「自分達で避難所

になったとも言われており、中学生にも「中学生ボランティア」として地域に住む小さな子供たちや高齢者、身体の弱い人たちの力になって活躍することが期待されます。

今後とも、こくりょう・みんなの広場（国領小学校地区協議会）の皆様には地域の人々が生きる将来が安全で安心な環境であるための心温かい備えを心よりお願い申し上げます。

意識の高さを感じたところです。また今回の訓練が、国領小学校の体育館が工事中ではありましたが、第六中学校で行われたことも驚きでした。多くの地域での避難所開設訓練は小学校で行われています。しかし、防災マップで確認すると中学校も避難所として指定されています。「中学校の避難所運営に関わる地域の人ってどうするの？」といつも疑問に感じていたところです。災害時には、地域の方々がお互いに助け合う「共助」がとても大きな力になります。このような訓練に参加することと、地域行事に参加して、お互いに知り合うことも大事ことだと思います。

の開設、避難者の受け入れ」の訓練として「避難所設営講習会」を開催しました。校舎1階と体育館を使用して地区協議会の参加団体や地域住民の方々40名で行いました。

課題も多くありましたが、とても有意義な防災訓練を行うことが出来ました。

開催にあたっては、白倉校長、第六中学校 地域学校協働本部、総合防災安全課の皆さんにはご尽力いただきありがとうございました。並びに参加された地域の皆様に厚く感謝申し上げます。

『地域防災勉強会』に参加して



市の生活文化スポーツ部 協働推進課主催の『地域防災勉強会』が、12月11日（土）たづくりの大会議場で開催されました。「事例から学ぶ災害時の課題と地域ができる平時の取り組み」をテーマに、一般社団法人 ピースポート災害支援センターの関根氏を講師として進行された2時間半の勉強会。講演の中では、二度のグループワークがありました。

「災害が発生した時、私たちはどんな状況に置かれるのか」「被災した時、どんな情報が必要になるのか。情報をどうやって得るのか」「避難所ではどんな生活になるのか」など、日頃からイメージをして可能な準備をすることの大切さを再確認することができました。

隣近所や自治会など地域の人たちと連携すること（共助）は、自分だけ（自助）では難しいことや、市役所・消防・警察の支援（公助）が行き渡るまでの間を乗り越える支えになります。日頃から何気ない会話を重ねることで、災害に強い国領地域を作りたいですね。

夏休み宿題やるとこ遊ぶとこ 野川水辺の観察会 7月25日

当日は晴天に恵まれ、明るい日差しの中、講師の先生方とともに、野川の魚たちを観察することが出来ました。

当日の様子は、こちらのQRコードからご覧いただけます。

資料番号は「590」です。



防災体験ツアー 11月7日

本年度の体験ツアーは、日本科学未来館とそなエリア東京に行きました。そなエリアでは、大規模地震からのサバイバルを体験しました。参加いただいた皆様、ありがとうございました。

日本科学未来館にて



そなエリア東京にて



活動予定

宿題やるとこ遊ぶとこ in 国領 書初め

毎年冬休みに行っている「宿題やるとこ遊ぶとこ in 国領 書初め」。

みんなですぐ初めの宿題や、おりがみで正月飾りを作ります。感染症対策に配慮し準備を進めています。

「宿題やるとこ、遊ぶとこ」とは…!?

「宿題やるとこ、遊ぶとこ」は、地域の子どもの居場所や世代間交流の場を地域の人々と一緒に作りあげることが目的としています。

こんなイベントがあったらいいな!というアイデアをぜひお寄せください!

皆様の素敵なアイデアをお待ちしています!

編集後記

こくりょう・みんなの広場の広報誌を最後までお読みいただき、ありがとうございました。コロナ禍でも、工夫を重ねて活動しています。活動を見かけたら、ぜひ応援いただけますようよろしくお願いいたします。

なお、過去の広報誌や他の地域の活動は「ちょみっと」でご覧いただけます。

こちらもぜひご参考に。

